

特別支援学校における 学年の教員による「学び合いの場」の実践

学籍番号 219128

氏名 松本 宜明

大学院主指導教員 家近 早苗

大学院副指導教員 長谷川 和弘

1. 問題と目的

特別支援教育の対象となっている児童生徒の障害は多様である。それに合わせて、特別支援学校が果たすべき役割やカリキュラムも大きく変化した。特別支援学校では様々な児童生徒の実態に対応できるように、多様なキャリアや専門性をもつ教員が働いている。更に、児童生徒にきめ細かな指導援助を行うために、複数担任制が多くの特設支援学校でとられている。つまり、多様な実態の教員同士が、同じ学年や学級で協働しているのが特別支援学校の特徴であり、課題といえる。

実習校で報告者が所属する学年の課題は、生徒の指導方針は学級で協議、決定され、学年に報告されることはほとんどないことである。一方で、生徒には学年の教員全員で指導支援を行っているため、教員同士が協働する必要がある。そこで、本実践研究の目的は、特別支援学校の学年の教員が協働し、どの様にすれば生徒の問題や課題を指導、援助できるのかを検討することである。

2. 研究内容

生徒の問題事例について学年の教員が検討する「学び合いの場」を実施する。更に、参加者を対象にした振り返りの時間から意見や感想を集め、実習校の課題に取り組む。

【研究Ⅰ】「学び合いの場」の立ち上げ及び実施に関するプロセス

〔目的〕実習校の「学び合いの場」と参加教員への影響を検討する。

〔方法〕（１）期間：2021年4月～2022年3月（２）対象：実習校の中学部3年の教員11名、「学び合いの場」の報告者のメモ及び逐語、半構造化面接の逐語（３）方法：①「学び合いの場」を実施し、逐語録を整理する。②「学び合いの場」に参加した教員を対象に半構造化面接を用いて振り返りを実施する。③その内容を意味内容の近いもので分類し、各カテゴリーの関係性を検討する。

〔結果・考察〕（１）「学び合いの場」と半構造化面接を6月と11月に実施した。（２）6月の半構造化面接の結果を「コーディネーターとしての役割」、「参加者が気をつけること」、「肯定的な意見」の3つの大カテゴリーに分類した。（３）分類したその結果を、11月の「学び合いの場」の改善点として取り入れ、実施した。（４）11月の半構造化面接の結果を「成果や結果に差が生まれるコーディネーターとしての役割」、「痛みが伴う価値のあるかわりの実

現」、「納得感の高い連携の促進」、「常に変化、成長する生徒を捉える教師の働き」、「お互いに刺激し、フォローする教員の関係性」の5つの大カテゴリに分類した。参加者からは日頃聞くことのできない他の教員の考えや思いを知ることができたなどの評価を得ることができたが、生徒の具体的な援助にはつながらなかった。

【研究Ⅱ】「学び合いの場」の結論を学年の教員と実践するには

〔目的〕学年の教員の協働による子どもへの具体的な援助を組み立てるためには、「学び合いの場」がどの様に機能する必要があるのかを検討する。

〔方法〕（1）期間：2022年4月～2022年12月（2）対象：実習校の中学部3年の教員11名、「学び合いの場」の逐語録、半構造化面接の逐語録（3）方法：①「学び合いの場」を実施し、逐語録を整理する。②「学び合いの場」に参加した教員を対象に半構造化面接を用いて振り返りを実施する。③その内容を意味内容の近いもので分類し、各カテゴリの関係性を検討する。

〔結果・考察〕（1）「学び合いの場」と半構造化面接を4月と5月に実施した。（2）4月と5月の半構造化面接の結果を「学年の教員への配慮や気配り」、「学年の教員同士が連携をとるための継続した工夫」、「コミュニケーションの目的や効果の伝達」、「学年の教員と子どもとの関係性のチェック」、「学年の教員の長所を積極的に活用した生徒指導」、「学年に新しく入った教員への学年の経緯や歴史の伝達」の6つの大カテゴリに分類した。（3）5月の「学び合いの場」の結論を学年会に提案し、学年の教員で役割を分担して生徒の具体的な援助につながった。

3. 総合考察

本実践研究では、学年の教員と協働し、生徒へ指導・援助を行うための「学び合いの場」の機能が4つ示された（図1）。4つの機能とは、「学年会の補助としての機能」、「学級の連関を高める機能」、「教員の多様性を受け止める機能」、「振り返りの機能」である。

「学年会の補助としての機能」は、雑談の様な場でも、会議の様な場でもない、それらの中に位置する場として機能したと考えられる。「学級の連関を高める機能」は、複数担任制がゆえに起こってしまう学級の凝集性にアプローチしたと考えられる。「教員の多様性を受け止める機能」は、学年の教員が専門性を持っているのが特別支援学校の教員であるが、役割の専門性だけでなく、人としての特徴というものも見出せたと考えられる。「振り返りの機能」は、教員の相互理解を深めることにつながったと考えられる。

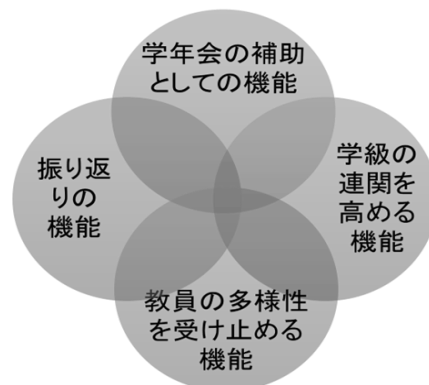


図1 「学び合いの場」の機能